



# 陽光台小



つくばみらい市立  
陽光台小学校  
学校だより 第8号  
令和6年10月15日  
児童数1009名

10月11日（金）に1学期の終業式を体育館で行いました。体育館に全児童が集まって式を行うのは、5年ぶりでしたが、児童はきちんとした態度で式に臨むことができました。代表の児童2人も堂々とした態度で、振り返りの作文を読むことができました。また、児童が頑張っ取り組んだ文化・芸術・スポーツ分野の表彰も行われました。学級活動の時間には、全児童が担任から通知表を渡されました。担任と一緒に自分の頑張りを理解し、2学期に向けた課題を確認できたと思います。ご家庭でもお子さんの成長を褒め、励ましていただければと思います。

## 終業式 学校長式辞

1学期終業式の前に、たくさんのお友達が1学期に頑張った文化・芸術・スポーツの分野で表彰を受けました。

受賞したみなさん、おめでとうございます。残念ながら、もう一步のところまで賞を逃し、悔しい思いをしたお友達もたくさんいたのではないかと思います。

でも、これからも努力を続けることは、とても大切なことだと思います。

さて、今日の終業式は、5年ぶりに全校児童が体育館に集まって行いました。そして、2年生と4年生の代表の方々から、1学期を振り返っての発表がありました。どちらのお友達も、自己を見つめ、しっかりと振り返りができていたと思います。2学期の生活にも活かせる振り返りだったと思います。

1学期の始業式の時に、2つのお願いをしました。

1つ目は、陽光台小学校の「あいうえお」のお話です。教室にも掲示してありますが、もう、あいうえおの意味は大丈夫でしょうか。

校長先生から見ると、あいさつをしてくれる人がとても増えたと思います。これは、とても素晴らしいことです。また、先ほどの表彰にもあったように、様々な分野で一生懸命取り組んでいる姿もたくさん見られました。もちろん、お勉強やお掃除、当番活動も含まれます。2学期も陽光台小の「あいうえお」を続けていきましょう。

2つ目は、「学びから逃げない」ということでした。そして、目標を高く持って「学び続ける」ことをお願いしました。「学ぶ」ということは、自分を変えるということです。昨日まで知らなかったことやできなかったことができるようになることは、自分を高めることだという話をしました。これについても、2学期も引き続き続けてほしいと思います。

最後に、みなさんは「AKB48」というグループをご存じだと思います。そのグループが歌う曲の一つに「365日の紙飛行機」というものがあります。この曲の歌詞は全て好きですが、その中に校長先生が特に好きなフレーズがあります。

それは、「人生は紙飛行機 願い乗せて飛んでいくよ」

「その距離を競うより どう飛んだのか どこを飛んだのか」

「それが一番大切なんだ」という部分です。

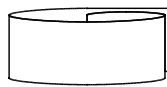
この曲に込められた願いは、人生における前向きな姿勢や日々の努力の大切さ、そして希望を持って生きることが表現していると思います。そして、紙飛行機が風に乗って少しずつ進む様子を通じて、人生も一步一步進んでいくことの大切さを描いていると思います。歌詞では、毎日が新しいスタートであり、目標に向かって努力し続けることが強調されています。また、困難な時期や迷いの中でも希望を失わずに、自分らしく生きることが大切だというメッセージも込められていると思います。



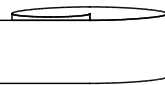
全体として、「365日の紙飛行機」という曲は、小さな積み重ねが大きな結果を生むことを願い、希望と努力の大切さを訴える前向きな応援歌になっていると思います。

みなさんも、一度聴いてみてください。「365日の紙飛行機」

来週15日から2学期が始まります。また、みんなで一生懸命頑張りましょう。



## 2年代表あいさつ



わたしが1学きにがんばったことは3つあります。

1つ目は、ノートやかん字ドリルをていねいに書けたことです。まい日れんしゅうしていたら、じょうずに書くことができました。すごくうれしかったです。



2つ目は、手がみがかりのしごとを、まい日できたことです。前はまい日できませんでした。大へんだけどがんばって、おもくてもまい日できるようにしました。なのでいまは、まい日、おもくてもがんばれています。自分もがんばればできるんだなと思いました。

3つ目は、さかあがりです。前はさかあがりできませんでした。でも、ひる休み友だちに、「いっしょにさかあがりやろう。」

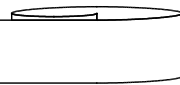
と言われて何回もやっていたらできるようになりました。くるっとまわったとき、気持ちがよかったです。

1学きはできることがたくさんふえてうれしかったです。

2学きは、今よりも字をもっときれいに書いたり、友だちをもっとふやしたりしたいと思います。



## 4年代表あいさつ



わたしは、四年生の一学期をふり返ってみると、がんばったと思うことが二つ、もう少しがんばればよかったと思うことが一つあります。



がんばったと思うこと一つ目は、あいさつです。学校の中で会った人や、わたしたちのとう校を見守ってくれている人などにあいさつができるようになりました、三年生までは、はずかしくてあまりあいさつができなかったけれど、四年生になってわたしはゆう気を出してあいさつしているうちに、学校の中で会った人や、とう校を見守ってくれている人に笑顔であいさつができるようになりました。

がんばったと思うこと二つ目は、体育で行ったマット運動です。わたしは、マット運動の中でも後転と開きやく後転がとても苦手でした。三年生の時に後転と開きやく後転のテストをした時でもできなかったのもくやしい思いをしました。なので、四年生になりマット運動が始まった時、すぐにはできるようにはならなかったけれど、家で練習しているうちに、後転と開きやく後転ができるようになりました。

もう少しがんばろうと思ったことは、係活動です。わたしは、うらない係でしたが、あまりうらないを作ることができませんでした。また、週に一度は帰りの会の時にうらないをやる予定でしたが、うらないの説明をまだ考えていなかったり、新しいうらないが完成していなかったりしたので、二週間に一度ぐらいしかできませんでした。なので、二学期は、係活動でたくさんみんなを楽しませたり、自分で決めたことをきちんと果たしたりしたいです。

わたしが係活動のほかに、二学期でがんばりたいことが二つあります。

一つ目は、漢字を覚えることです。一学期に、漢字の宿題が出た時は、漢字ドリルで分からない漢字を調べ

てしまったり、自分でこの漢字は覚えていると思っていたても、書き順や読み方をわすれてしまうということがあったので、二学期は自主学習で漢字を書くことをたくさんやってきちんと覚えたいです。

二つ目は、習字です。四年生になって習字で書く字が三年生よりもむずかしくなっているので、自分になつとくできる字が書けなかったので、二学期はふだんから字をきれいに書いて、週に一度の習字の時間に、自分になつとくできるような字を書けるようにしたいです。

あと半年で五年生です。五年生は六年生をサポートする立場なので、四年生のうちにわたしも、まずは自分のやることが終わったら、すぐにみんなをサポートできるようにしたいです。また、五年生になったら委員会活動があるので、係活動や一人一役はしっかりやって、委員会活動が始まった時、人の役に立てたり、みんなを楽しませられるようにしたいです。